



すくすくだより



令和7年度 10月号
社会福祉法人中央福祉会
げんきな森中央保育園
すみれ組

まだまだ暑い日が続いていますが、朝晩は涼しい風も吹き、少しずつ秋の訪れを感じるようになりました。夏の間、暑くて戸外遊びができなかったのですが、9月になり、日差しが柔らかくなってきたので、園庭に出て遊ぶ機会が増えました。数か月ぶりに園庭に出た時は、みんな足を地面に付けず、「抱っこ～」と泣いていました。しかし何度も園庭で遊ぶうちに慣れてきて、今では砂場でスコップを使って砂で遊んだり、台車を押して自由に探索したりと楽しんでいます。「さぁお外に行こうかな」というと、お部屋のミニバケツを腕にかけ、帽子を指差し、ドアの前でスタンバイOK！外遊び大好きなすみれ組さんです。

今月も、秋の自然の心地よさを十分に感じながら伸び伸びと体を動かして楽しんでいきます。

今月のわらい

- ・体調や気温に合わせ、衣服を調節し、快適に過ごせるようにする。
- ・身近な保育者に喃語を発したり指差しをして、気持ちを表現しようとする。
- ・見守られている安心感の中で、好きな遊びを楽しんだり、秋の自然に触れながら探索活動を楽しんだりする。

今月のうた

- ♪どんぐりころころ
- ♪おおきなくりのきのしたで

今月の絵本

- ・ぺんぺん ぼろろん
- ・わらべうたであそびましょ！

絵本大好き！わらべうた大好き！！

絵本が大好きなすみれぐみさん。本棚からお気に入りの絵本を取り「読んで！」と持ってきます。

保育者が読み始めると、他の遊びをしていたお友だちも集まってきて、じーっと見たり、食べ物の本なら、食べる真似をしたりしています。

なかでも今ブームなのは、「わらべうたであそびましょ」という絵本です。昔なつかしいわらべうたが載っていて、保育者が歌いながらやってみると、はじめはきょとんとしていた子どもたちですが、今では一緒に手を動かしたり、「あっぷ」と言いながら面白い顔をしたりしています。「いっぽんばしこちょこちょ」を歌うと、保育者の手をそっと持つので様子を見ていたら、歌に合わせて指先でコショコショしてくれます。そしてこちょこちょの部分では、自分がしてもらうためにじっと待つという、可愛い姿を見せてくれるお友だちもいます。

わらべ歌には子どもたちの発達を促す要素がたくさん詰まっていると言われています。ぜひお家でもわらべ歌で親子のコミュニケーションをとってみてくださいね。

